

兵庫県地域創生戦略(2015-2019年度)の概要【平成30年3月改定】

2060の兵庫の姿(社会像・人口規模・経済状況)

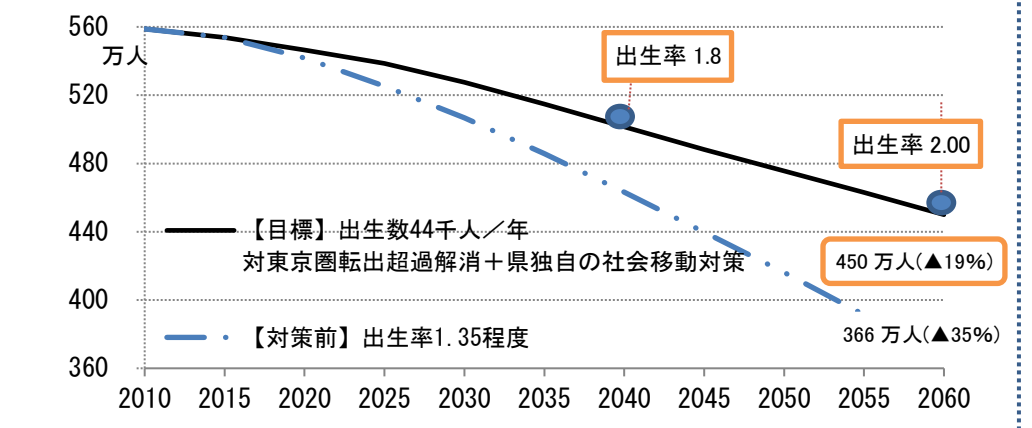
- 1 個性ある多様な地域の中で心豊かな暮らしが実現する兵庫**
 - ・心豊かな暮らしを実現
 - ・圏域ごとの機能分散と連携により活力を向上
 - ・多自然地域の活力を維持
 - ・大都市圏、郊外など個性に応じた都市空間を形成
- 2 医療、防災、多彩な歴史・文化の蓄積、教育力等に支えられた世界トップレベルの生活環境が確保されている安全安心の兵庫**
 - ・先進の医療体制による健康長寿社会を実現
 - ・見守りや充実した介護・看護による暮らしの安心
 - ・世界最高水準の防災基盤と防災意識
 - ・歴史と進取の精神による質の高い芸術文化を創出
 - ・高度で多彩な教育環境で兵庫から内外に羽ばたく
 - ・兵庫の知的蓄積の地域へ還元
 - ・豊かな自然環境や環境に優しい安定的なエネルギーを確保

- 3 二地域居住等県内での交流が進み国内外からの来訪者があふれる兵庫**
 - ・二地域居住の浸透や交流人口により農山村地域を持続
 - ・国内外を往来する人・情報・もの・資金の創発・発信拠点に
 - ・五国ならではのオンリーワンの魅力が国内外の人々を呼び込む
 - ・世界の課題解決に貢献する人材の交流

- 4 一人ひとりがその持てる力を最大限に発揮でき、社会を支える主人公となる兵庫**
 - ・ふるさと意識を持つ人の広がり
 - ・きずなにより支え合う安全・元気なふるさとづくり
 - ・一人ひとりが能力を発揮でき得意分野に応じて役割を持つ
 - ・様々な“縁”によるつながりの広がり
 - ・誰もが柔軟な働き方が選べ、チャレンジでき、起業家になれる
 - ・子育てを楽しみ子どもがのびのび健やかに育つ

- 5 世界経済をリードする基幹産業と地域に根ざした地域産業が県内全域で展開される兵庫**
 - ・高成長が見込まれる海外諸国との連携で経済活力を呼び込む
 - ・兵庫ならではの先端産業が世界経済をリード
 - ・地域産業が高い技術やブランド力で地域経済を活性化
 - ・農林水産業が発展し、兵庫が平成の御食国として人気を博す
 - ・小規模産業が広がり地域の生活を支える

○ 自然増対策(出生数の維持、健康寿命の延伸)・社会増対策(人口の転出超過の均衡)により、2060年において、**450万人の人口**を目指す



○ 2050年代に、**県内総生産(GDP)成長率で1.5-2.0%程度**を目指す
 ○ 県民総所得(GNI)に占める**海外等からの所得の比率**を高める

地域創生の考え方

- 2060年の兵庫の姿を見据え、2020年まで(2015-2019年度)の5年間の目標・施策を定める。
- 兵庫の**多様なポテンシャル**や**多様な地域特性**など“兵庫の強み”を活かし、全県一律ではなく**各地域の個性**に応じた**重点的な施策展開**を図る。
- 個性が異なる各地域が、①機能を分担し互いに補完する、②目標を共有し共に進化する、③融合し高次の発展を図ることで、兵庫全体の**総合力や魅力**が高まるよう、「**多様性と連携**」を基本に取り組む。

- ### 多様なポテンシャル
- ① 阪神・淡路大震災を経験した地としての**安全・安心対策**
 - ② 航空機、IoT、環境・次世代エネルギー、先端医療等、**ものづくり県**の更なる進展
 - ③ 大型放射光施設「SPring-8」やスパコン「京」など世界に誇る**先端科学技術基盤**の活用
 - ④ **多文化共生**としての**グローバル性**の活用
 - ⑤ 進取の気性に富み多彩な**兵庫人**の育成
 - ⑥ **平成の御食国**(食の宝庫)の確立

多様な地域特性

区分	地域特性	重点的な取組方向
大都市圏	瀬戸内臨海部に位置する日本有数の都市圏	大都市の魅力の更なる向上 ・次世代産業の育成 ・都市ブランドの構築
大都市に連担する準大都市圏	大都市に近接し、都市機能と豊かな自然を併せ持つ地方都市圏	拠点都市機能の向上 ・ものづくりの拠点 ・都市の拠点の再生
単独で成立する地方都市圏	多自然地域の魅力を有し、地域の核となる都市部を有した地方都市圏	多自然地域との連携都市 ・地域産業の再活性化 ・拠点都市機能の強化
多自然地域圏	豊かな自然環境に恵まれ、多彩な農林水産業が営まれる地域	交流と連携でつなぐ 多自然圏域の創造 ・農林水産業の成長産業化 ・集落のセーフティネットの確保

2020年の戦略目標

- 【自然増対策(子ども・子育て対策)】**
 - 出生数：2015-2019年度で22万人(4.4万人/年)の維持
- 【自然増対策(健康長寿対策)】**
 - 健康寿命：5年間(2015~2019年度)で男女とも1歳の延伸
- 【社会増対策】**
 - 人材流入増加(流出抑制)数：5年間(2015-2019年度)で25,700人(若者のしごと創出：22,500人、ファミリー層の転入：2,000人、壮年層の転入：1,200人)
- 【地域の元気づくり(東京一極集中の是正)】**
 - 県内総生産(GDP)は国を上回る成長率を維持
 - 県民総所得(GNI)に占める海外等からの所得の比率を高める

2020年の人口規模と経済状況

- 人口対策により、人口規模は547万人(2014年：554万人)になる
- 地域の元気づくりにより、経済状況は
 - ・県内総生産(GDP)で実質：23.0-23.6兆円、名目：21.7-23.0兆円、
 - ・県民総所得(GNI)で実質：26.1-26.9兆円、名目：24.7-25.9兆円へ

2020年まで(2015-2019年度)の対策、実効性の確保等

対策

※ 10の基本目標と70の施策を設定
 ※ 全県対策に加え、地域別(県民局・県民センターごと)の対策を設定

人口対策(自然増対策・社会増対策)	地域の元気づくり
① 多子型の出産・子育てが可能な社会を実現する	⑥ 兵庫の産業競争力を強化する
② 健康長寿社会をつくる(新たに追加)	⑦ 安全安心な健康福祉社会をつくる(名称変更)
③ 地域に根ざした産業を振興する	⑧ 住みたい地域をつくる
④ 人や企業・資本が流入する兵庫をつくる	⑨ まちの賑わいを創出する
⑤ 個性あふれる「ふるさと兵庫」をつくる	⑩ 県土空間の安全・安心を高める

- ### 実効性の確保等
- 戦略の施策を着実に推進するとともに、効果を検証し不断の見直しを行うため、GPDCAサイクルによる進行管理を実施。検証の客観性を担保し、効果的に戦略を推進するため、以下の取組を行う。
- 【検証体制の構築】**
 - 産学官金労言の有識者による「兵庫県地域創生戦略会議」で専門的見地から意見を聴取
 - 議会に対し、毎年度、前年度の戦略の実施状況を報告
 - 【アクション・プランの策定】**
 - 戦略の下に、具体的な事業及び重要業績評価指標(KPI)を盛り込んだアクション・プランを策定し、施策の着実な推進を図る。
 - 戦略目標の的確な進行管理を行うとともに、KPIの中から重点指標、政策アウトカム指標を設定し、指標の階層化・体系化、パッケージ化を行い、わかりやすい評価体系を構築